

平成27年度通常総会開催

# 新副会長、理事を選任

日本万引防止システム協会

日本万引防止システム  
協会（東京都新宿区、戸  
田秀雄会長、Tel03・3  
355・2322、以下  
JEAS）は、2日に東  
京・新宿区の主婦会館フ  
ラザエフで平成27年度通  
常総会を開催。前年度の  
事業報告、今年度の事業  
計画などに加え、新たな

副会長に金村真一氏（チエックボイントシステムジャパン社長）、新理事に佐藤圭三氏（キャトルブラン社長）などの選任が承認された。

総会の議事開始前に、戸田会長が挨拶。「凶悪犯罪の入口と言われて久しい万引犯罪は、青少年か

ら高齢者へ広がり複雑化。一過性の犯罪から組織犯罪へと悪質化が進み、大きな減少傾向を辿つていいのが実態」と、万引き犯の現況を紹介。そして、万引きの原因や動機に触れた上で、「被害者である小売店の立場を考えれば、安全安心が

かされると同時に大きな経済的損失を受けることとなり、大変深刻な事態」と語った。万引防止システムなどの普及が広がっているが、「残念ながら未だ小売店の自己防衛手段に止まっているのが現状」であるとした。その上で、「小売業様の負担を

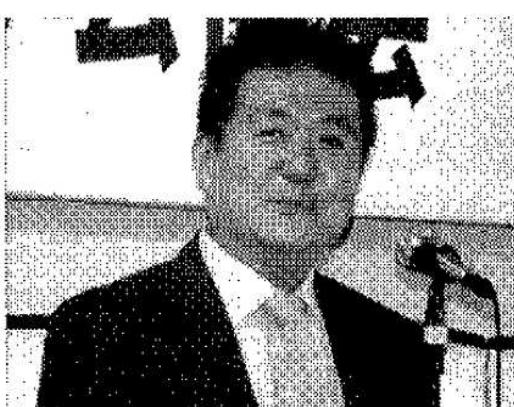
軽減して、なお且つ防犯効果を高めていくために、企業単位から業界単位へ、そして業界単位から社会全体」という広がり、関係方面が一体となつた防犯体制の充実、セキュリティのインフラ整備を並行させることで、万引犯罪の撲滅を目指す

足度向上を目的とする、新活動宣言発出を検討する件も承認して閉会。その後、記念講演会を開催した。

戸田会長



金村副会長



佐藤理事

取り組みが重要と指摘。JEASでは具体策として、万引防止システムの更なる普及を推進、ソースタギングの実現、防犯画像の効果的な利用法の確立に注力していく旨を

局の大木雅文環境リサイクル室長・情報家電戦略室長、日本小売業協会・山崎和敏事務局長の挨拶後、全国万引犯罪防止機構の竹花豊理事長による乾杯を行つた。また、総会で新たに選出された佐

## そして議事に入り、 平成26年度事業報告、

拶を行うなど、和やかな  
歓談の場となつた。